

5、6年前から尿道近くにウズラの卵大の柔らかいものができています。引き締めると引っ込みますが、長時間立っていると下に降り、何か挟んでいるようで気になります。恥ずかしくて誰にも相談できず悩んでいます。アドバイスをお願いします。(74歳、女性)

子宮脱



武内享介医師

子宮脱になると膣から子宮が下がり、重症の場合、完全に膣の外に出てしまうことがあります。子宮以外に、膀胱や直腸が

生じることがあります。また、脱出した臓器が下着に擦れるため不正出血があり、子宮がんを心配して受診する人もいます。しかし、実際は子どもの受験や家族の介護、産婦人科受診の抵抗感から、なかなか受診に至らないことが多いようです。骨盤臓器脱が悪化すると不快感だ

法、あるいは手術があります。ペッサリーとは膣の中に入れて骨盤臓器の脱出を防ぐ器具です。一般的には丸い形をしているので「リング」とも呼ばれます。ペッサリーが合わない人や違和感が強い人、脱出の程度が強い人には手術を勧めます。加齢による体力の低下で将来的にペ

感、排尿症状などがある場合、まず産婦人科を受診することをお勧めします。治療を受けた多くの患者さんが「こんなにすっきりするのなら、もっと早く受診すればよかった」と言います。(兵庫県医師会、武内享介II神戸市須磨区、国立病院機構神戸医療センター産科・婦人科) ◆第1、3、4日曜に掲載します。

悪化防止に症状あれば受診を

下がる場合もあります。最近はまだとめて「骨盤臓器脱」と呼ばれ、高齢化に伴い増加傾向にあります。

膣内に何かに触れたり、膣から何か出てきたりするといった症状以外にも、下半身になんとも言えない不快感、おりもの

けではなく、頻尿や尿漏れ、あるいは便や尿が出にくくなり、日常生活に支障をきたすことがあります。友達との外出や旅行を避けるようになるなど生活の質にも悪影響を及ぼします。

治療法として、膣内にペッサリーという器具を挿入する方

ペッサリーの出し入れが困難になり、排尿、排便に介護が必要となる場合を考えて手術を決定する人もいます。

骨盤臓器脱は多くの場合、命に直接関わることはありませんが、悪化すると生活の質を損なう要因となります。陰部の不快